

たぐさんの人のやさしさ

青木 真緒

「ガタガタガタガシャンドン

10月23日午後5時56分。中越地震。その時私は、家族のみんなとテレビを見ていた。地震がくるなんて山古志の人達は、誰も予想していなかったと思う。地震が来たつぎの日。私は、4人姉妹だが、長女以外は、車に乗っていなさいと言われた。でも次女の私は、外に出たくて出たくて出たくて仕方なかった。家のかたづけの手伝いとして、外に出た。外に出た時私が見たものは、私の見なれている景色とはちがった。まず家の片付けをした。家はかたむいてしまったので中に入るのが恐かった。その時私は、もうこの家には住めなくなり、思

山古志小学校

った。家を見ていたらなぜか友達のことか心配になってきた。「元気がなり。ケガをしていないかな。その日の夕方ヘリコプターに乗って、長岡に行った。

いつたん親せきの家の近所の避難所に避難したけど小学校に行くために避難所が変わった。これで私も友達に会える。違う避難所に入ったたら同級生がいた。そしてポランティアの人達がたくさんいた。私は同級生の子達と一緒にポランティアの人達に、「あそぼ」と言っで仲良くなった。サッカーなどをして遊んだ。地震の恐さを忘れるくらい楽しかった。自衛隊の人たちとも仲良くなつた。避難所にいた時のポランティアの人達と遊んだ時は、すごく楽しかった。

山古志小学校

そして仮設住たぐに来た。仮設住たぐのポランティアとは、あまり仲良くなれなかつた。でも、避難所の時のポランティアや自衛隊の人達が仮設住たぐに遊びに来てくれたのだ。避難所のポランティアが帰つたとき、私は、つぎいつ来るのか、ゆくわくしていた。私はポランティアの人や自衛隊の人に感謝をしている。これからのポランティア活動に積極的にやりたい。